

やすらぎ短信

平成 29 年
7 月号

夏季みこし祭へ向けて

早いもので今年も半分を折り返しました。今月から来月にかけて、七夕やお盆等、夏の行事が続く、八月二十六日～二十七日には、浦幌神社の夏季みこし祭が斎行されます。昨年は七月から天候が崩れ、夏を感じる日が少ないまま秋を迎えました。今年こそお天道様の光をたくさん浴びて作物が豊かに稔り、笑顔でお祭りをお迎えできるように日々お祈りしております。今年の当番区は、幸町・寿町・末広町・帯富の四町内です。今月からいよいよ準備もはじまります。氏子崇敬者をはじめ協力団体の皆様には本年もご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



社日碑の看板奉納

宮本建設(有)様・佐藤板金様より、社日碑の由緒書き看板を奉納頂きました。社日碑では毎年春秋に社日祭が斎行され、農事の安全や豊作を祈願しております。この場をお借りして感謝申し上げます。

伏見稻荷神のぼり奉納

伏見稻荷神社ののぼりは、三年おきに新調しており、この度、町内の企業・商店・飲食店より四十二本のご奉納がありました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。なお、のぼりのご奉納は、まだ受付けておりますので、ご希望の方は、浦幌神社へご連絡願います。



十年に亘り「花」奉納

子供たちと植栽活動

去る六月二十四日、石原英之様(万年)よりリシマキアの苗五百株、アジュガの苗百株をご奉納頂き、浦幌町空手道少年団の子供たちと保護者のご奉仕により植栽致しました。リシマキアの花の植栽は三年目、今年で千五百株となりました。樹霊塔への参道脇がこの花一面に咲くのがとても楽しみです。この活動は、故背古政裕先代宮司の「境内に沢山の花を植栽し、参拝者の心を和まして欲しい」との遺言から始まったもので、石原様に全面的にご協力を頂き、今年で十年目となりました。永年に亘るご奉納にこの場をお借りして心より感謝申し上げます。



宮司の 一筆

四歳になる娘が寝る前に持つてくるお気に入りの絵本に「はなちゃんのみそ汁」という本がある。乳癌で余命わずかな母親が、五歳の娘に伝えたことは、毎朝、みそ汁をつくることだった。ところが、母親は三十三歳の若さで逝去。はなちゃんは、父親と二人暮らしになるが、「食べること」は「生きること」、母親の教えを守り、毎朝、早起きをしてみそ汁をつくり続けているという実話である。ちょうどこの本を読んでいた先月、小林麻央さんの訃報が飛び込んできた。ブログを通じて闘病の様子を伝え、同じ癌患者へも笑顔でエールを送っていただけに残念でならない。かけがえのない二人の娘と息子へは、命の限り母親としての「愛」を伝えたことでしょう。親子で過ごせる時間は、天から与えられたものであり、その時間は限られている。親として生涯を通じて「子どもへ何を伝えるか」真剣に考えなければと感じた。

支部神社総代会正式参拝

去る六月二十日、北海道神社庁十勝支部 神社総代会の役員並びに代議員の方々三十名が正式参拝に来られました。参拝後は社務所において、当社の由緒や乳神神社の信仰、当社役員が協力している「うらほろ和ごころ体験塾」の活動等をご紹介させて頂きました。



夏越の大祓式を斎行

六月三十日、氏子崇敬者ご参列のもと夏越の大祓式を斎行致しました。今年半年間「つみ」「けがれ」「厄災」を人形に移してお祓いし、残りの半年間も無病息災、家内安全に過ごせるよう祈願致しました。



戦没者慰霊祭のご案内

日時 八月十五日（終戦記念日）
午前九時より、
場所 浦幌神社境内、忠魂碑前
雨の場合は、浦幌神社拝殿

浦幌町出身の御英霊に感謝の誠と平和への祈りを捧げます。どなたでも自由にご参列できますので、どうぞお参り下さい。



浦幌神社行事予定

- 七月一日 月次祭
 - 七月十五日 月次祭
 - 七月上旬 夏季みこし祭役員会
 - 七月中旬 夏季みこし祭
- 事前打合せ会

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八